

リコー
DesignCenter



編集・制作：梅澤朝樹
発行日：2008年8月18日
第32号
<http://umeasaki.com/sengaku/>

横浜スタジアムで キヤノンに初勝利



初参加、井内! 2安打! スリーベース1本の大活躍!

横浜スタジアムで試合! キヤノンに逆転初勝利!

お盆休みの活動となったこの日は、夢の横浜スタジアムでの試合。相手は毎年IDリーグで優勝しているキヤノン。若返りを見せているせんがくずはなんととしても勝ちたい試合だった。

試合は序盤から引き締まった展開。せんがくずは先制されるも、要所を最小失点に抑えていた。チャンスがめぐって来たのは4回。試合があることを忘れていた先頭打者の鈴木正が足を活かしたツーベースヒットを放つと、続く吉川が四球で出塁。堀口、鶴岡が倒れ、佐藤純が四球で出塁。二死満塁で主砲矢野に打順が回る。

この試合初めてのチャンス。家族を引き連れ、矢野なら確実に点が入ると誰もが信じていたが、2球であつという間に追い込まれると最後は内角低めのカーブで三振。矢野にとっては珍しい姿。横浜スタジアムのプレッシャーからか、せんがくずは最初のチャンスをものにできなかった。

リコー	キヤノン
0	1
0	1
0	0
0	0
4	1
6	6
X	6
10	9

初参加の井内が2安打! 身長を活かした好走塁!

この日ヒーローとなったのは初参加の井内。背番号は190。後半に入り、緊張がとけた井内が爆発する。

5回裏、先頭の畠山がヒットで出塁すると、続く井内が内安打で出塁。自身初ヒットとなる。続く久々の参加となった鈴木裕児がサードゴロを放つと、これが相手守備のミス誘い、その間に井内は三塁へヘッドスライディング。これもまた相手守備のエラーを誘い、井内は一気にホームを狙う。ギリギリのタイミングかと思われたが、井内は身長を活かしたヘッドスライディング。井内の好走塁で待望の得点を挙げた。更に2点を追加し、せんがくずは遂に逆転に成功した。

6回にもせんがくずの猛攻は続いた。相手投手の乱れもあり、ランナーをためると打席にはまたもや井内。高めを叩いて打球は右中間へ。三塁を目標けてまたもやヘッドスライディング。これが三塁打となった。

	打数	安打	打点	盗塁	本塁打
(DH) 堀口	3	2	0	2	
(七) 鶴岡	2	0	0	0	
(八) 佐藤純	2	0	1	0	
(六) 矢野	2	0	1	0	
(五) 畠山	3	1	1	1	
(九) 井内	3	2	2	0	
(四) 鈴木裕	2	1	3	1	
(DH) 吉越	2	1	0	0	
(二) 比留間	2	0	0	0	
(DH) 遠藤	2	1	1	0	
(一) 梅澤	3	1	1	1	
(DH) 鈴木正	2	1	0	0	
(三) 吉川	0	0	0	3	

最後はホームクロスプレーで 試合終了! 逃げ切って勝利!

続く鈴木裕児、吉越、比留間、遠藤が連続フォアボールで出塁し、この回一挙に6点を挙げ、試合は完全にせんがくずムードとなった。

時間も迫り、きっちり3人で抑えたいところだが最終回、キヤノン打線が火を噴いた。

守備位置を変え、守備固めを狙ったせんがくずであったがこれが裏目に出た。連続エラーで6失点。終了3分前で二死満塁となる。矢野投手の投げたカーブはワンバウンド。これを捕手梅澤が弾き、サードランナーがホームへスライディング。梅澤が危険をかえりみずダイビングタッチ。間一髪アウトで試合終了となった。

最後の最後まで両軍で盛り上がった横浜スタジアムでの試合。何はともあれ、勝利こそが試合後の宴会をよりいっそう盛り上げるものとなった。せんがくずは10月の合宿で紅白戦を実施することを目指す。

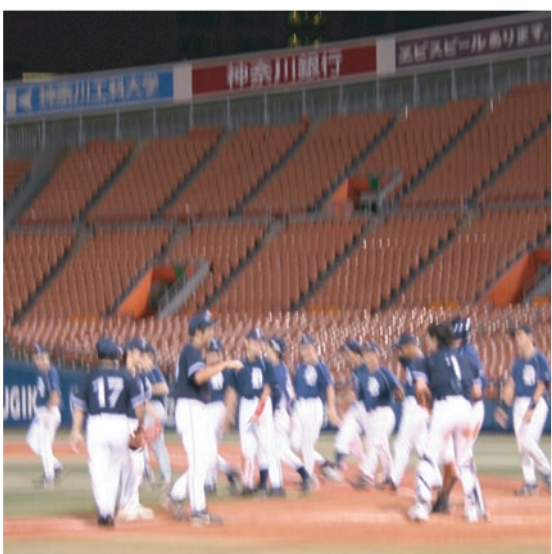
	三振	安打	四死球	自責点
(投) 梅澤	2	2	3	2
(投) 矢野	1	2	4	7



夢の横浜スタジアムでの試合風景



身長を活かしたヘッドスライディングで三塁打の井内



ホームクロスプレー後の試合終了の風景